

3月下旬発売予定

『カール・アンドレ 彫刻と詩、その間』



仕様：A4変型/コデックス装/152P
 執筆：梅津元、山口信博、杉浦花奈子
 展示風景撮影：高野ユリカ
 デザイン：林琢真
 言語：日本語/英語
 定価：4,800円+税
 発行：DIC川村記念美術館
 発売：torch press
 ISBN：978-4-907562-47-2C0071

カール・アンドレ（1935-2024）は1960年代後半のアメリカを中心に興隆したミニマル・アートを代表する彫刻家です。日本の美術館において初めての個展となる本展は、同一の形と大きさに加工した木、金属、石を床に直接置き、規則的に広がるアンドレの典型的な彫刻作品を大きな空間で展開します。アンドレは自身の作品が、それが置かれる周りの空間に作用するものであることを「場としての彫刻」という言葉で表しています。整然として無機質な印象とは裏腹に、実際の作品を前にすると、金属の光沢や錆、木の手ざわり、石の重みなど、物質それ自体の大きな姿を目にすることができます。また、本展ではアンドレの詩をまとめたかたちで紹介。彫刻に通ずる空間的、構造的な認識や、文学、美術、歴史、政治など作家自身の幅広い思考が反映されています。



展覧会図録となる本書では、展示のインスタレーションビューを皮切りに、彫刻や詩の作品などを織り交ぜ、充実したテキストと共に収録。特に詩のページでは、印刷や紙も作品と近づけ、原寸大で印刷することでその作品性を体感できます。表紙はアンドレ作品のコンクリートユニットをイメージしたデザインを施し、三方小口をグレーに塗装することで、本全体でアンドレ作品を体現しています。彫刻と詩という離れた表現で展開する、簡潔ながらも単純ではないアンドレの作品と出会うことができます。

カール・アンドレ

1935年にアメリカ・マサチューセッツ州の工業都市クインシーに生まれる。フィリップス・アカデミーで学んだ後、ヨーロッパ滞在や兵役を経て1957年にニューヨークに居を移し、出版社で職を得る。翌年よりフランク・ステラとスタジオを共有して鑿で木に切れ込みを入れる彫刻を制作する。1960年から約4年間ペンシルヴェニア鉄道で制動手として勤務する傍ら、詩作やユニット状の木を組み合わせる《エレメント》シリーズに取り組み。1964年にグループ展で初めて発表をし、翌年にティボール・ド・ナギ・ギャラリーで初個展を行う。1966年「プライマリー・ストラクチャーズ」展に137個のレンガを直列に並べた《レヴァー》を出品する。その後、アメリカ、ヨーロッパなど各地で空間に合わせて規模の異なる様々な作品を発表する。2024年1月24日、ニューヨークにて死去。

▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX: 03-3721-1922

mail:info@tsubamebook.com
 TEL:03-6715-6121 http://tsubamebook.com

貴店名(番線印)	新刊 torch press	www.torchpress.net
	注文数	返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通:川人
ご担当: 様	『カールアンドレ・彫刻と詩、その間』	
	ISBN978-4-907562-47-2C0071 定価5280円(税込)	